

くらしの中で防災を意識する機会の創出

【資料 1 の取組方針②③⑤⑦を踏まえて】

無関心層への防災啓発に決定的なものではなく、あらゆるシーンで露出を高めて意識してもらう機会を増やします。また、これをきっかけとして防災情報によりふれてもらえるよう QR コードの掲載などによりホームページや防災ブックへ誘導し、最終的には防災の備えについて行動してもらえるよう促します。

シーン 1 ご家庭

わが家の防災アイデア、非常食レシピなど各家庭の取組について SNS など募集し、その中からおすすめのことを各種媒体で紹介して拡散

シーン 2 お買い物

- ①食料品や防災グッズを扱う店舗などにローリングストックなど災害への備え啓発ポップを掲示
- ②「くらしの備え。いつものもしも」を掲げる無印良品との連携
 - ・売り場での啓発ポップの掲示
 - ・防災キャンペーン時などに「区別防災マップ」「子育てファミリーのための防災ブック」の配架
 - ・店舗内で親子を対象にした防災イベント
 - ・北区ホームページに無印良品の啓発コンテンツを掲載

シーン 3 街中

大阪メトロの地下通路、デジタルサイネージ（北区役所、そよら新金岡、イオンモール堺北花田など）、北区役所エントランスホール、新金岡市民センターなどを発信の場として活用

シーン 4 SNS 上

- ①北区役所公式インスタグラムで防災ウィークを設け、お役立ち情報を楽しく発信
- ②おやこ to ぼうさい講座の内容を発信

シーン5 学校

- ①ジュニア防災リーダー育成事業の推進
- ②学校で活用できそうな防災コンテンツの紹介
(ジュニア防災リーダー育成、子育てファミリーのための防災ブック、おやこ to ぼうさい講座の動画、
区別防災マップ、堺市総合防災センター、生涯学習まちづくり出前講座など)

シーン6 図書館

- ①防災に関するブックフェアの開催
- ②ボランティアによるお話し会、図書館司書のおすすめ絵本リーフレットに防災関連本を採用
- ③書棚各コーナーに防災関連本の見出し設置
- ④子育て支援コーナーなどに「子育てファミリーのための防災ブック」を配架
- ⑤防災おすすめ本の紹介（ホームページなどでも 読書感想文や自由研究にもおすすめ）